



北玉小だより



令和8年 8・9 月号
北谷町立北玉小学校
発行者 校長 根保 輝
北谷町字吉原 875 番地
電話 098-936-3928

Ⅰ 学期後半スタート

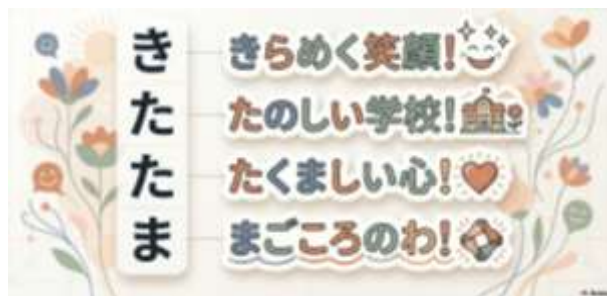
元気な北玉っ子たちの笑顔とにぎやかな声が学校へ戻ってきました。台風の影響で1学期後半スタートがズレましたが、大きなけがや事故の報告もなく、子どもたちが無事に登校してくれたことを大変うれしく思います。これも、夏休み期間中、子どもたちを温かく見守ってくださった保護者の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

1学期後半開始の校長講話で北玉小学校の「き・た・た・ま」を子どもたちに紹介しました。

この四つの言葉には、「笑顔をいっぱいのだのしい学校生活を送れるように、仲間とともに学び、失敗を恐れずに何度も挑戦するように、思いやりの心で自分も周りの人も大切にしてほしい」という願いを込めています。また、1学期前半の終業式で子どもたちに伝えた「継続は力なり」という言葉も振り返り、「毎日少しずつ続けることが、自分の力となり、学校をよりよいものにしていく」という話をしました。北玉っ子一人一人が、この合言葉を意識しながら成長してくれることを期待しています。

1学期後半は、5・6年生の音楽発表会をはじめ、さまざまな教育活動が予定されています。学校行事や日々の学習を通して、子どもたち一人一人が大きく成長できるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

登校の様子を見ると、元気よくあいさつをする子どもがいる一方で、まだ夏休みの生活リズムが抜けきらず、眠そうな様子の子どものも見受けられます。生活リズムを整える基本は「早寝・早起き・朝ごはん」です。子どもたちが毎日元気に学校生活を送れるよう、ご家庭でも引き続きご協力をお願いいたします。



琉球大学教育学部「子ども学フィールドワーク」



5月からスタートした琉球大学教育学部「子ども学フィールドワーク」の学生による本校での支援活動が7月に終了しました。

学生の皆さんには、日本語教室の児童を中心とした個別支援をはじめ、遠足での活動補助など、北玉っ子一人一人に温かく寄り添いながら支援していただきました。子どもたちにとっても、学生の皆さんとの交流は貴重な学びの機会となりました。

学生の皆さん、本当にありがとうございました。教員を目指す皆さんの今後のご活躍を心より応援しています。

地域の皆様に支えられて

～七夕の笹竹をありがとうございました～

今年も地域の宮城幸子さんから、七夕飾り用の笹竹をご提供いただきました。

宮城さんには、長年にわたり読み聞かせボランティアとしても子どもたちを温かく見守っていただいております。本校の教育活動を支えてくださっています。今年も立派な笹竹のおかげで、子どもたちは願い事を書いた短冊を飾り、季節の行事を楽しむことができました。

地域の皆様の温かいご支援が、子どもたちの豊かな学びや心の成長につながっています。宮城さんをはじめ、日頃より本校を支えてくださる地域の皆様に心より感謝申し上げます。

